



校長室だより 夏休み臨時号

2025.7.18

◎ 通知表の見方について — 自分のよさに目を向けて、次の目標を決めよう —

先日はご多用の中を個人懇談にお越しいただきありがとうございました。本日、お子さまが通知表を持ち帰っています。通知表は、学校での学習や生活の様子、身につけた成果や今後努力が必要な課題などを伝えるものです。昔も今も、教室で通知表が配られると、◎（目標に達している）の数を数えて「やったあ」と喜んだり、「もし△があったら…できへん」と肩を落としたり、○の数で一喜一憂している姿を見ます。通知表の形式として◎○△の記号が目に入りやすいので、そうなる気持ちも分かります。

ご家庭では、お家の方とお子さまと一緒に、もう一度ゆっくりと通知表を見直して、得意になって自信の出てきた教科や、各教科に共通して苦手な観点を見つけてみてください。

○ 3つの観点「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」

学習指導要領に示される「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点別に、学年に応じた「観点の内容」を示しています。各教科の主な学習内容については、毎月発行の学年便りでお知らせしている通りです。

① **知識・技能** … 「何が分かっているのかな？ 何ができるのかな？」

学習したことが「分かる」、自分で「できる」ことが大切です。正確に覚えること、何度も繰り返して慣れることでしっかりと身につけ、理解・習得されます。

国語の漢字や算数の四則計算(加減乗除： $+$ $-$ \times \div)はその代表です。体育や図工でも、「(道具や身体を使って)必要な技ができる・使える」技能などが目標になります。

→ペーパーテストの結果や文章、式・グラフによる表現、実際に知識や技能を用いる場面等で評価します。



② **思考力・判断力・表現力** … 「分かったことをどう使おう？よし、こうやってみよう！」

判断力： 解決に向けての方向性や解決方法を定める力。

表現力： 友だちと話し合い、多様な考えを伝え合う力。

思考力： 全ての活動において、自分なりの見通しや計画を立てて実行し、解決につなげる力。

これらは、「生きる力」と直結している「問題解決能力」に関連する力です。

習得した知識・技能を生かして新たな知識や技能を手に入れる、情報を集め組み合わせ活用するといった力になります。

→ペーパーテストだけでなく、話し合いや、新聞・パンフレットなど「学習のまとめ」の作成、作品づくりなど多様な活動から評価します。



③ **主体的に学習に取り組む態度** … 「進んで学ぼう！楽しもう！」

学習指導要領の3つの柱の一つ「学びに向かう力、人間性等」に示された資質・能力には、感性や思いやりなど幅広いものが含まれています。

学習の中で、知識や技能を習得するために試行錯誤する、習得したことを生かして表現するなど、自ら進んで楽しみ、意欲的に学ぼうとしている面と、お子さま自身の良い点や可能性、進歩の状況も大切にしています。

→ノートやプリントなどの記述、授業中の発言、取組みでの粘り強い行動、お子さま自身の振り返り等を評価します。



通知表を見る時、ノートやテストを整理する時などに、お子さまの話にゆっくり耳を傾けていただけたらと思います。がんばりと成長をたっぷりほめて、一緒に次の目標を考えてみるのも一つです。目標が決まったら、そのためにやるべきことをはっきりさせて、毎日の学習の積み重ねを大切にいただければと思います。(通知表は学期ごとにお渡しします。ご家庭で大切に保管してください。)